



就農する方、 全力で応援します！



四万十町では、新たに農業経営を開始する新規就農者を、各種支援制度によって応援しています。
特に一定の所得を目指す方は「認定新規就農者」と位置づけ、就農の段階に応じてさまざまな支援制度を受けることができます。
新しく就農するためには、圃場や機械、技術や知識、また人脈などソフト、ハード両面で多くのものが必

要になってきます。
各種支援制度では、実際に先輩農家の下で農作業を行い、技術習得を目指す研修メニューや、農業用機械・施設整備に対する費用を支援するメニューなどがあります。
就農を目指す方の不安を少しでも取り除き、大きな負担なくスタートできるように全力で応援させていただきます。



上 支援事業で購入したコンバイン。認定期間中はハード・ソフトの両面から支援します。
下 実際の農作業を通じて技術や知識が学べる研修事業も充実。

Interview

農林水産課の新規就農
担当者に話を聞きました



四万十町農林水産課
しょうた
竹本 将太 さん

人の人生を左右するので、
真剣に対応しています。

この町で農業を始めたいと言っても、皆さんそれぞれに目的や規模感が違うんです。だから最初にその方の農業に対するイメージやプラン、熱意などを確認し、その方が将来目指す姿を具体化できるよう意識しています。
単に「支援制度」を紹介するだけではなく、その方が目指す農業にどれだけ近い形でスタートできるのか、その最初の一步をお手伝いするのが私の仕事です。

新規就農相談会

この町で農業を始めたいですか。就農に関するあなたの不安や疑問に、個別に対応します。

令和7年1月8日(水)
13:30~(事前予約制)

詳細は来月号で
お知らせします。

無料
相談

会場
JA高知県四万十農協会館



我が町農業最前線！！

奮闘する若い力が、農業の未来を支える

米どころとして知られ、生姜やミョウガ、ニラの生産量でも県内トップクラスを誇る四万十町の農業。しかし今、その農業が厳しい状況に直面しています。
そんな状況の中、新規就農者として若い力が奮闘する生産現場。また、安心・安全な地元食材を求めてにぎわう直販所。
今回の特集では、そんな最前線の現場から、「農業」の今をお伝えします。



「食」と「健康」を支える農業

私たちが生きていく上で欠かせないものの一つに、「食」があります。毎日を健康に過ごすためには、質の良い食事をバランスよく取ることが大切です。

その食事の質を大きく左右しているのが、米、野菜、果実、お肉などからなる農畜産物です。

この町の豊かな自然と、生産者の手によって丹精込めて育てられた安心・安全な農畜産物は、常に私たちの「食」と「健康」を支えてくれています。

ここで、昔は田んぼだったのに…

今、日本の農業は深刻な状況に直面しています。

近年の地球温暖化による影響は農業にとっても大きく、加えて農産物の価格競争が激化するなど、農業所得の安定化に影響を及ぼしています。

また、少子高齢化や人口減少によって、農業の担い手や後継者の不足も大きな課題となっています。

その結果、町内にある2,500ヘクタールの農地のうち、経営耕地面積は1,583ヘクタールにまで減少し、耕作されずに放置されている「遊休農地」が、年々増加しています。

持続可能な地域農業の実現に向けて

本年6月、国は25年ぶりに「食料・農業・農村基本法」の一部を改正し、持続可能な農業所得の確保と農村振興を図ろうと基本計画の策定に取り掛かっています。今後の新たな事業展開に期待が高まる中、四万十町でも持続可能な地域農業の実現に向け、農業後継者や新規就農者の確保などのさまざまな支援策が講じられています。

地域農業の明るい未来を担う若い力として、町内では直近3か年で約50名の新規就農者が誕生しています。地域の生産現場に、新たな農業の担い手の姿が、少しずつではありますが見られるようになってきました。

しかし、農業が直面している課題は、どれもすぐに解決できるものではありません。今後も引き続き、生産者と消費者、そして行政がしっかりと手を取り合って歩みを進めていかなければなりません。

